

■まちづくりができるところから進めて欲しい

駅前広場や都市計画道路の整備が進んでいる

駅前広場と都市計画道路は、2016年春に供用開始予定。

相原駅西口まちづくり検討会で検討を進めてきた、西口地区全体の地区計画決定と、都市計画道路沿道の用途地域等の変更は、2015年春を予定。

用途地域等の変更により、沿道商業地区の土地利用のコントロールが難しくなるのではないかと。

この地区のまちづくりを考えると、土地利用の方向性が定まる前に規制することは難しい。

■まちづくりを早く進めて欲しい

まちづくりを早く進めないと、学生も大学もいなくなり、アパートに人が入らなくなる。

リニアの効果で橋本に事業所が多くできるので、相原に住んでもらえるチャンスがある。

駅から離れて住んでいる人達は、駅前の利便性を求めている。住み替え需要への対応が必要だ。

この地区のまちづくりを進めることが、西口のまちづくりの一つの到達点だ。

まちづくりをできる所から考えていくのはどうか。

現在の土地利用の状況から地区内で、地区を東西に分けても良いのではないかと。

開発事業者が魅力を感じるまちづくりも必要ではないかと。

■西口に必要な施設や店舗とは…

病院や薬局・ドラッグストアなどの店舗が欲しい

病院・薬局・ドラッグストアは欲しい。

飲みに行く時は橋本まで行くことが多い。

町田街道側だけでなく、駅前広場側にも店舗が欲しい。

駅前広場側に店舗が集まると、駅前らしくなる。

西口にもコンビニが欲しい。

コンビニばかり出てきても、利用者は限られる。

■車社会だが、地域の商店を使って街を良くしていこう!

車社会なので、買物は八王子みなみ野や橋本などの郊外店に行くことが多い。

車で郊外へ買物に行く人が多いので、駅前でも店の経営は苦しい。

地域の商店を、地元の人が使わないと街は良くなる。地元の人を利用しやすいような検討も必要ではないかと。

■駅前にあるスーパーマーケットは、地域の重要なお店

駅前のスーパーマーケットは、もう少し規模が大きい方が良く、品数が少なく他店に行ってしまう。

最近は、家まで配達してくれる店も多い。

駅前にあるスーパーマーケットは、地域の高齢者には重要なお店。

通勤客、学生、共働き世帯の取り込みが必要ではないかと。

駅前広場の近くに移転し、バスに乗る人も買えるようにしたら良いのではないかと。

地区の人口減少を抑えて利用者を増やすことが大事だ。

町田街道立体化事業により、建替えが必要になるのではないかと。

町田街道の反対側からも入れるようになると良い。

■防災の視点からも考えるべき

非常時からまちづくりを考えるべき

防災面も含めてまちづくりを考えるべきだ。

火災・地震発生時、どこに逃げるのか街全体で考える必要があるのではないかと。

この地区は、地震時・火災時・浸水時で避難場所が違う。

火災への対応が後追いになっている。逃げられる工夫が必要であり、これから考えていくまちづくりで、対応できるのか。

防災や防犯のまちづくりも考えていく必要がある。今後予定している用途地域等の変更で準防火地域に指定し、街全体で火災への対応を進める。

地区内で防火水槽はどこにあるのか?

次回までに調べておく。

■道路や公園の整備が必要

公園は、子供が遊べる公園にして欲しい。

防災面を考えても、やはり道路が狭い。

道路を作るには、住民が土地を提供する必要があるのか。

地区内で市が所有している土地は、駐輪場しかない。

市だけで事業や整備を行うことは難しく、地区の皆様にも少しずつ協力して頂くことになる。

■学生が多いことを生かすべき

学生は何を望んでいるのか、どういう店が欲しいかヒアリングしたらどうか。

学生はにぎわいの1つになる。

学生に聞くと、相原は緑が多いまちと言う。若い人材が多く、素敵なまちになるのではないかと。

大学に行く時は相原駅を使っても、帰りはめじろ台駅などから帰る人が多い。

学生にとって、相原駅は通過点に過ぎない。

学生に聞いても、相原は何もないので橋本か町田に行くと言う。

■その他の意見

利用者が少ないせいか、駅のキヨスクも撤退してしまった。

相原中央公園に向かうバスがあると良い。

子供会に入る人が減っている。

駐輪場付近で花を植えている人がいる。花がきれいだけでなく、治安が良くなると思う。